

# 環境に配慮した暮らしを能美市から全国へ！事業実施主体：株式会社日本海開発(石川県)

- 当社では、能美市の廃棄物処理業者として、地域における再生資源の収集・中間処理・商品開発・販売などを通じ資源の有効活用を促進し、同時に地域の方々や世界の恵まれない子どもたちに、健康で長生きすることや安全安心な食生活、環境に配慮した暮らし方、国際貢献などの価値を還元していきたいと考えている。
- 小学生を中心とした若い世代が食に関する意識を高め、身につけた知識を健全な食生活につなげていくことができるようにするため、農業体験や共食の場での地域住民との交流を行うとともに、その体験を絵日記として提出してもらい、展示会等を通じて圏域の市民に情報発信することで、食の大切さや地産地消への理解の増進を図った。



## 【取組の内容】

### ○ 環境食育絵日記展示会の開催

農業体験等の活動を通じて学んだことを、能美市内8校の小学校6年生を対象に環境食育絵日記として提出してもらい、各校から提出された絵日記456点を掲載する展示会を4日間開催した。



「循環型社会の形成」の取組を紹介



有機肥料を使用した大根づくり体験の様子



環境食育絵日記展示会



環境食育絵日記展示会の来場者に配布した「食育啓発パンフレット」



環境食育絵日記

## 【取組の成果】

- 『環境食育絵日記』は、「こうなったらいいな2030年の能美」を絵で表現してもらい、小学生に持続可能な社会について自分たちで考える機会を与えることができた。
- 事業で実施した各種取組については、当社のホームページなどに掲載した。また、新聞社などにも取り上げてもらい、能美市以外にも広く広報活動ができた。



環境食育絵日記展示会の記事

### ＜事業実施後に行ったアンケート結果＞

○環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ者の割合の増加  
目標値 69% ⇒ **95%(26ポイント上回る)**

○食品を購入する際に「産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ」とする者の割合の増加  
目標値 75% ⇒ **89.7%(14.7ポイント上回る)**